

鹿島市民図書館の歴史

第2回：昭和42年「鹿島中央図書館」のころ



「わあ。なつかしい・・・」そう思われた方もきっといらっしゃるはず。こちらの写真は、昭和42年の『鹿島市勢要覧』に掲載された図書館の姿です。藤津図書館は、大正7年（1918）に高津原552番地に開館した後、鹿島町図書館、鹿島中央図書館と名称を変え、昭和18年（1943）に高津原4405番地1に移転しました。写真には「読書グループが増えた市立図書館」というキャプションが付いています。昭和42年といえば、松下幸之助著『道をひらく』や有吉佐和子著『華岡青洲の妻』がベストセラーになった年です。読書会では、どんな本が読まれていたのでしょうか。

参考文献：『鹿島市勢要覧1967』『九州図書館史』『佐賀県立図書館60年のあゆみ』など。

この頃の図書館を覚えている方はいらっしゃいませんか。ぜひ、当時の思い出話をお寄せいただければ幸いです。

お待ちしております！



としょかんカレンダー

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31

※7月15日 海の日

ぬりつぶし：お休みです

開館時間

火～金曜日
9:30～19:00
土・日曜日、祝日
9:30～17:00

♪おはなし会 好評開催中♪

- あんころもち(0歳) 火曜14時～
- きびだんご(0～3歳) 第1・3水曜14時半～
- おはなし会(3歳以上) 土曜14時～

図書館は9時30分から開館して皆様をお待ちしています！
午前中の涼いうちに、ぜひ図書館へ。
緑のカーテンを眺めると、よい涼しさを感じますよ!!!



としょかん日記

エイブルの2階にある「床の間コーナー」では2ヶ月ごとに鹿島ゆかりの美術・工芸・歴史に関する展示を行っています。現在の展示に関連して、先日鈴木滋人先生のギャラリートークが開催されました。制約を活かした作品づくりなど貴重な話を伺うことができ、制約の多い職場での柔軟な発想の大切さを痛感しました。

今年秋には図書館と楽修大学の共催で鹿島藩最後の藩主で、初代沖縄県令となった鍋島直彬公の展示を予定しています。ぜひご期待ください。(T)

かしましみんとしよかんたより

みんと 第140号

2013年 7月

今月のみんと

- ★ 天の川お星さまおはなし会
- ★ 「どちらでした？」
- ★ 読書感想文の書き方講座
- ★ いざ！省エネ対策
- ★ ヤングコーナーの紹介
- ★ 鹿島市民図書館の歴史②
- ★ 7・8月の開館カレンダー

発行 かしま市民立楽修大学
鹿島市民図書館
〒849-1312
鹿島市大字納富分2700-1
Tel (0954) 63 - 4343
Fax (0954) 63 - 2217
ホームページ
http://www.library.city.kashima.saga.jp
<QRコード>
Eメール
kashimal@theia.ocn.ne.jp



第6回 天の川お星さまおはなし会

読み聞かせボランティアのみなさんによる、心のこもった”春・夏・秋・冬“の季節を楽しむお話がいっぱい！小さなお子様から小学生まで幅広く楽しめる内容のおはなし会です。

日時：7月7日（日） 10時～12時
場所：エイブル1階 いきいきルーム（保健センター内）
対象：どなたでも参加できます。（入場無料）

宇宙 夏のイベント があり
科学館より の紹介と プレゼント ますよ!!

今年もみんなに会うことが
できますように★



「どちらでした？」

あなたは、早く大人になりたい子どもでしたか？それとも、大人になりたくない子どもでしたか？私は後者でした。「なんか大変そうだし・・・」と思っていたのか、少しひねくれていたのか。でも、時が流れ、中学校教員として働いていた数年前、学生が同じことを言う「そう思うでしょ。私も実は同じだったけど、なってみるとこれがどうして、子ども時代より絶対大人はおもしろい！」と、いつのまにか力説していました。ひとは時に子ども時代の夢とは異なる場所で生き、日々の仕事もけっこう大変で、それでもその重みを味わい人生を楽しんでもいる・・・そんな大人の背中を子どもに見せられたら、と思います。

子どもだけでなく、忙しい働き盛り世代へのサービス拡充は、図書館の課題です。なかなか図書館に来る時間のとれない方に資料を利用してもらおうと「みにみに図書館～事業所版」の試行を始めました。どの本を見本に持って行こうか・・・色々迷いながら30冊あまりの本や雑誌を選んで、市内の事業所に営業(?)に出たのは約1ヶ月。社会人マナーなど職員研修ものや、料理、釣りやゴルフ、小説も・・・選んだ本の中から、相談に応じて下さった総務部の方が手に取られたのは、桑田真澄のエッセイだったり、スティーブ・ジョブズだったりしました。

そうした活動が実を結び、先日ある事業所への第1回配本が実現できました。工場に100冊、事務所に50冊、毎月入れ換える予定です。男女比や平均年齢を考えながら選書し、シールを貼った本をコンテナにつめ、やや緊張の面持ちで本を持って行った担当スタッフは、にこにこ顔でもどってきました。「何人もの社員さんが集まってきて、喜んで本を手にとられた！」とのこと。休憩室や食堂で利用して頂ければと思っていたのですが、貸出ノートを作って管理して下さるとか。多くの方に利用して頂き、働く大人が人生を楽しむお手伝いになれば・・・図書館スタッフ一同の気持ちです。

やっぱり大人も悪くない、そう思います。

図書館長 野崎千代美

★イベントのお知らせ★



小学生のための 読書感想文の書き方講座

今年は
3つの会場で！！

市民図書館

7月25日(木)

時間：10～12時
講師：熊森孝子先生
野崎図書館長
定員：60人

七浦公民館

7月30日(火)

時間：10～12時
講師：野崎図書館長
定員：30人

北鹿島公民館

7月31日(水)

時間：10～12時
講師：野崎図書館長
定員：30人



感想文ってなんだろう？夏休みの宿題に出たけれど、困ってしまう子もいるはず！ここでは本の選び方や書き方のコツを教えますよ。
ぜひ、来てくださいね！

公民館の会場でも本を借りることができます！

申込み：7月6日(土) 9時半から(先着順です)
申込み先：市民図書館(0954-63-4343)
持ってくるもの：筆記用具、図書館カード、水筒
参加費：無料



ブックトークでは、いろいろな本を紹介します。時間がある夏休みだからこそ、たくさん本と出会ってほしいです♪

新着本の紹介

『冒険の遺伝子は天頂(いただき)へ』



三浦雄一郎・三浦豪太：著
祥伝社：出

冒険家になるために必要なことは、心に生まれた好奇心を行動に移すこと…。世界最高峰でエベレスト登頂に成功した三浦雄一郎さんと登頂をサポートした息子の豪太さん。登頂出発の直前に、二人が「冒険」について語った1冊です。

『ココロの美容液』



香山リカ：著
文藝春秋：出

日々の暮らしの中で生まれるいろいろな悩みに人気心理カウンセラーが答えます。あせらず、ゆっくり、そして自分らしく。疲れてしまったココロにやさしく香り美容液をどうぞ！

『人はチームで磨かれる』



斎藤孝：著
日本経済新聞出版社：出

一体感のあるチームによって、人は成長する！そのため必要なこととは？斎藤先生から職場を元気にするための72の質問です。これを読めば見慣れた職場が新鮮に感じられるかも！？

『サガン鳥栖 オフィシャルイヤーズブック2013』



サガン・ドリームズ：出

J1昇格から2年。サガン鳥栖ファン待望のイヤーズブックです。伊晶煥(ユン・ジョンファン)監督へのインタビューや選手の対談、選手名鑑など。サガン鳥栖の魅力がいっぱい詰まっています。

『95歳。今日をたのしく。 もっと前向きに』



吉沢久子：著
海竜社：出

家庭生活や食文化、老いることについて、執筆や講演を通して様々な提案をしてきた吉沢さん。95歳の日々の暮らしのなかで感じた小さな喜びや好奇心が丁寧に綴られています。

いざ！省エネ対策

暮らしを変える



生活の小さなことを少しだけ改めれば…こんなに省エネできるのです！マンガがたくさんついて分かりやすい本書を読んで暮らしをチェンジ！

★これもオススメ★

『暮らしを美しくする609 続』
暮らしの手帖社：出
ていねいに暮らすことは省エネにつながるようです。読むだけで生活自体が健やかなものになりそうです。



今年は電気料金の値上げがあり、本格的に省エネ対策を考えていらっしゃる方も多いことでしょう。省エネのヒントが満載の本、いろいろあります！

電気を知る



今後の日本の電力の行方や節電についてよく分かる一冊。停電への備えもこれを読んで万全に！

★これもオススメ★

『電力 現状と新発電法』
ニュートンプレス：出
電力の基礎知識から新しい発電法や夢の発電法まで、カラフルな紙面で電気について解説。

『停電が一番わかる』
大嶋輝夫著 技術評論社：出

コーナー紹介・その①「ヤングコーナー」

図書館の一番奥に存在する“ヤングコーナー”に入ったことはありますか？“ヤング”だから若い人だけしか入ったらいけないの？と聞かれることがありますが…とんでもない！ここは若者向け(小学校高学年～大学生)の本を主に置いていますが、中高年が読んでも「なるほど」そして「感動！」を味わえる一冊と出会える場なのです。このヤングコーナー、5月末に拡張をしてレファレンスカウンター前でも手に取ることができるようになりました。ぜひ足を踏み入れてみてください。



『振り子』
鉄拳：著 小学館：出

これはお笑い芸人・鉄拳さんが作ったパラパラ漫画です。マンガだからとあなどるなかれ。めくり終えた時、あなたの目にはじんわりと涙がたまっているはず…。

文学のおすすめ本は・・・
『武士道シックスティーン』 菅田哲也：著
『図書館の神様』 瀬尾まいこ：著
『あの雲を追いかけて』 アレックス・シアラー：著

ヤングコーナーの文学は読後感がさわやか。元気が出てくる作品もたくさん！



若者にこの本を
読んでほしい。でも・・・
若者だけが読むのは
もったいない本がいっぱい！

「イエローラベル通信」・・・ヤングコーナーのおすすめ本などを紹介した季刊情報誌。図書館内に置いてあります。ホームページではカラー版を見ることができます！